

温々 ギャラリー案内 2022年7月～12月〈下半期〉

〒337-0001 埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎1856
TEL/FAX 048-686-3620 WEB cafe-nukunuku.com

7月5日(火)～7月18日(月・祝) 詫摩まり ガラスの器展	暑い夏！ 透明なガラスのテーブルウェアで「涼」を感じて頂ければ幸いです。 POPなデザインのボトルや照明もお楽しみ下さい。
7月20日(水)～7月31日(日) スズキヨシカズ スズキヨシカズ幻燈画室収蔵絵画作品展	「いつだったかな？何処でもない場所で誰でもない絵描きの作品を観たんだよ」 少しでも未来に出逢う誰かにそんな風に話して聞かせたくなるような展示会を開きます。スズキヨシカズとスズキヨシカズ幻燈画室による二度目の展示です。
8月1日(月)～8月4日(木)	夏季休業
8月5日(金)～8月14日(日) 上野玄起 アイアンワーク展	八ヶ岳のアトリエで作り出すアイアンのアートと日常使用の作品の展示会です。 温々でも飾っていただいているので既に馴染みのある方も居られると思います。 暮らしの中に取り入れるアイアンアート作品に会いに来てください。
8月16日(火)～8月28日(日) 加藤博史 作陶展	栃木の益子町で主に食器を作っています。好みの緑色にするために、益子以外の粘土を使うことが多いのですが、地元の粘土を使う大切さも感じており、掘らせてもらった原土を自分で使える様に精製した粘土でも作陶しています。 普段は蹴ろくろを使用しています。
8月30日(火)～9月11日(日) 星耕硝子 「吹きガラス 伊藤嘉輝の仕事」	今回もコップや小鉢などをはじめ日常で使いやすいうつわを取り揃えてご紹介いたします。吹きガラスならではの質感をどうぞお楽しみください。 この春ありがたく第96回『国展』工芸部で会友賞をいただきました。 確かな手仕事をこれからも皆さまにお届けできますように。
9月13日(火)～9月25日(日) しもゆきこ木版画展 「アンドレア・デル・サルートの猫」 (夏目漱石著「吾輩は猫である」より)	昔、我家の庭は、個性的な猫達が往来する猫通りでもありました。二十数年たつてすっかりさびれた猫通りをながめながら再び吾輩の世界へ行ってみたいと思いました。
9月27日(火)～10月10日(月・祝) 伊藤博敏 「堅物の憂鬱」	秋は憂いの季節。 堅物(石) の見てきた景色はどんなだったろうと想像します。 語られることの無かった様々なドラマが悠久の時間の中に埋もれているはずです。 そんな地球の欠片が紡ぐ物語を私なりに語ってみます。
10月12日(火)～10月23日(日) 工房さくらいろのいえ 春田香歩 葉っぱで染めて作品展	工房の裏に山桜の木があります。葉っぱでみごとな赤みの色に染まります。 ほっこりできる作品になれるといいなと、進めています。
10月25日(火)～11月6日(日) 増田泰子 「物語の世界」	子供の頃から慣れ親しんだ物語を題材に水彩画と流木や古物を使ったオブジェを展示します。ほかにも少女たちや動物のシリーズなども合わせて発表いたします。
11月8日(火)～11月20日(日) 馬場浩二・くまがいマナ 陶とガラスの器展	陶芸を志した頃、民芸の考え方に強く影響を受けました。その後数多くの刺激を受ける中、現代的な作風で制作してきました。近年再び民芸に新鮮な魅力を感じていて、今回その精神を意識しながらシンプルで使いやすい器を目指します。 (馬場) 吹きガラスの作家として駆け出しの頃からずっと温々のお客さまには支えていただき本当に感謝しております。この度の展示会を期に吹きガラス製作は一区切りとなります。自分が求めてきた「用の美」を極めるには きっとまだまだ研鑽の時間が必要ではありますが集大成のつもりで「毎日使いたくなる器」をたくさんご用意して参ります。馬場さんの陶とわたくしのガラスの器 お気に入りを見つけにいらしてくださいませ。 (くまがい)
11月22日(火)～12月4日(日) 原島秀行 「杜のかたち」	杜のかたち展を開催させていただき3回目となります。初回の会期中、表に出て夜空を見上げると、風のざわめき、揺れる木々のシルエット、天高く登った銀の月。それらすべてが優しく温々の空間を包み込んでいて「ここは温々の杜だ」と感じました。鍛金という金工技法を用いて、銅板や純銀の板を加工して作品を作っています。日常で使用するもの、日常の中のオブジェを中心に展示します。
12月6日(火)～12月25日(日)	しめしめ展
12月26日(月)～1月4日(水)	冬季休業